

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（店長）	・気候に応じてではあるが、今後、秋物需要が高まり、プロパー客層が増加するため、単価、来客数ともに上昇すると予想している。
	やや良くなる	一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・今まで企業が抑えていた備品購入等の予算が出てきたので、これから上がっていく。
		百貨店（売場主任）	・ブライダル関係で、特にアクセサリーの婚約、結婚の指輪等が非常に好調である。2～3か月後も、結婚関連商品が動くと期待している。
		百貨店（広報担当）	・客数は減少傾向が続いているが、ロイヤリティの高い顧客の来店頻度や購買単価が上がってきている。顧客の要望にかなう品ぞろえやイベントなどを継続的に実行していくことで、売上を確保していきたい。
		百貨店（統括）	・後半から投入した秋物の婦人服・婦人雑貨の動きが良く、冬物の受注も入っている。良くなる兆しがみられる。
		コンビニ（経営者）	・客の単価が上がっている。来客数も減っておらず、これからもこの状態が続く。景気はこれから少しずつ良くなっていく。
		衣料品専門店（経営者）	・涼しいため、秋物の出だしが非常に良い。希望が持てる。
		家電量販店（店長）	・希望的観測もあるが、テレビに関してはデジタルBS（または地上波デジタル）の普及が本格的にスタートし、その動きに対する期待感がある。今まで弱かった情報家電関係は、家庭の中にもう一つ家電を加えたいという消費要求から伸びてくる。
		家電量販店（営業統括）	・徐々にではあるが、客の買物回数、インターネットにおける注文の商品単価が上昇してきている。選択面は厳しいものの、購買意欲が高くなっていると感じる。
		家電量販店（営業部長）	・10月からのパソコンの改正リサイクル法施行前の駆け込みや、地上波デジタル対応のフラットテレビ、ハードディスク付きDVDレコーダー、デジタル一眼レフなど、秋以降の新製品に期待している。
		乗用車販売店（販売担当）	・決算期により台数が伸び、排ガス規制によって代替が進む。また、新型投入により需要が若干増えるの見込まれ、景気はやや上向く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼が伸びている。法人や一般客は昨年と同水準で、宿泊についてはSARSの影響も落ち着き、前年水準に近づきつつあるので、今後の入込状況としては、やや良くなる。	
	旅行代理店（従業員）	・海外旅行の申込受注が堅調に推移している。	
	タクシー運転手	・株価の上昇が、企業や経済界に多少の余裕をもたらしているのかもしれない。タクシーの中で深刻なことを言う人が減った。全体の流れとして、多少良くなりつつある。	
	タクシー運転手	・個人タクシーの深夜早朝2割増への値下げについて、一部の事業者約6,000台が9月に入って追随するようである。少しは客足が伸びることを期待したい。	
	通信会社（経営者）	・当社のテリトリー（約10万世帯）内で、パソコン中心の大型家電店が2軒オープンしている。パソコンが売れると、当社のケーブルインターネットに加入する人が増える。	
ゴルフ場（支配人）	・予約状況からみて、3か月後は良くなっている。		
変わらない	商店街（代表者）	・今年に入り、販売量、販売金額が減少傾向にあったが、8月は決して良い数字ではないものの、以前よりも安定している。	
	一般小売店〔米穀〕 （経営者）	・一杯売りたいが、今年は米が不作のため、新米の出回りが大変遅れている。古米が割り当てで少なくなっているため、量がショートしそうな状況で、厳しい。	
	百貨店（総務担当）	・相変わらず必要最小限のものしか購入しない傾向は、変わらない。	
	百貨店（広報担当）	・徐々に回復していく方向にある。 ・個人需要については、来客数こそ減少しているものの、買上客数や単価、数量は、前年並みか、前年クリアの基調に変わってきている。一方で、法人需要はまだ低迷しているため、この動きが懸念材料として挙げられる。全体的には、回復基調に転じたとみている。	

百貨店（営業企画担当）	・秋物、冬物などの売行きを見ていると、前年より「お得意様ご招待会」等を増やしていった、ようやく前年並みの売上が確保できる状況である。
スーパー（店長）	・今年は天候や気温が不順であり、残暑もあることから、衣料関係はまだ苦戦すると予想できる。秋物が多少動いているが、回復するまでには至っていない。厳しいと予想される。
スーパー（管理担当）	・冷夏の影響のため、夏物の動きが鈍い。青果物の価格が高騰しそうな気配があるため、景気自体が悪くなる感じがする。
コンビニ（経営者）	・大型店の営業時間が延び、他店との関係から厳しい状態が続いていたが、来客数が前年比105%と推移している。今後とも同じような水準で継続していくものと思う。
コンビニ（経営者）	・天気が不順なため、ドリンク等があまり売れない。2、3か月後は、天気次第で客の動きが変化すると思われる。
家電量販店（店員）	・改正リサイクル法が10月1日から施行され、その前にパソコンの買換えなどの需要があるかもしれないが、それほど期待できないので、まだまだ景気は良くならない。
乗用車販売店（総務担当）	・サービス（車整備、用品販売等）の売上は、目標の88.4%で前年同月比では横ばいという結果となりそうである。客は新車が販売されると飛びつくが、ブームのサイクルが年々短くなっている。 ・アウトドアグッズの物販売上は達成率が86.8%、前年同月比では92%の見込みである。同業他社と比べると落ちは少ないが、樂觀できない状況である。
乗用車販売店（店長）	・車の販売は非常に良いという状況ではないが、車を購買するユーザーは普通どおりにいる。ただ、車は売れて売れて困るという状況ではなく、苦労して売り込んで、変わらない状態である。
乗用車販売店（販売担当）	・各トラックメーカーは相当な台数のバックオーダーを抱えている。年内はこのままの販売量を継続できると思うが、来年以降は落ち込む可能性が大いにある。排ガス規制による短期的な需要増である。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今年の夏は悪かったため、夏物のセールを既に始めて、早い展開が可能となっている。ただし、競合店も非常に増えているので、販売量がプラスした分、かなり単価が下がり、結果としては変わらない。
その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）	・市場環境に特別な変化はみられず、今後も新商品投入を定期的に計画していくものの、過度なレスポンスを期待することは困難である。
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・眼鏡フレームはそのまま利用し、レンズだけを購入する、フレームを修理して使用するなど、客は無駄な支出を極力抑える傾向にある。
一般レストラン（店長）	・再開発等で活性化を図っているが、今後、日本全体の景気がどうなるか不安定なので、あまり変わらない。
スナック（経営者）	・歌舞伎町では、客足が遠のいている。
スナック（経営者）	・大手会社の営業所や支店の統合に伴い、事務所が減少している。また、近くにある大手の工場が福島、群馬に移転してしまうので、努力しても変わらない。
都市型ホテル（スタッフ）	・株価の上昇等、若干景気に明るい兆しがみえてきたが、一度削減した経費を再度増やすには時間がかかると思われることから、企業の利用を期待するまでには至らない。
都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は良くない。
通信会社（営業担当）	・加入者は横ばい、解約者は減少する。
通信会社（企画担当）	・ケーブルテレビ、インターネットともに、陰りはみられない。
ゴルフ練習場（従業員）	・販売量は増加しているが、来客数は下落しており、状況としては変化はない。
パチンコ店（経営者）	・冷夏の影響もあり、予想したほど数字が上がっていないが、この先、悪くなる要因も、好転する要因も、見当たらない。
その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・9月に、当業界の新製品展示会（アミューズメントスペース向け、家庭用の両方）があり、そこに出品される商品の動向にもよるが、傾向は変わらない。
美容室（経理担当）	・美容院の開店が多く、対抗策として固定客の確保に努力して、現状維持に専ら努めている。

	その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・来客数、販売量等が同じか、あるいは昨年を若干割っている状況であり、極端に回復する傾向は、今のところ見いだせない。同じような状況がこの2年ほど継続している。	
	設計事務所（所長）	・民間の動きがまだ悪いので、2、3か月先の判断はできない。行政の仕事が一時的に出たので、現状は多少忙しくなっているだけである。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の期間延長も大した影響はなさそうであり、住宅の建て替え、新築、購入の需要は、落ちていく一方であるが、自社の商品イベントにより、多少シェアを伸ばしていける傾向にある。	
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・商店街では、経営環境が悪化している。経営不振、店主の病気などで、昨年5店、今年は既に4店が空き店舗になり、空き店舗数は合計9店になってしまった。また、最近1年間で、家賃が高い等の理由から店舗の入れ替えも3店あった。	
	一般小売店〔鞆・袋物〕（従業員）	・秋の行楽商品が多少動く様子がみられる。9月に残暑があれば、低単価の夏物残商品が売れる可能性がある。ただ、総合的に考えると、前年の数字をクリアするのは難しい。	
	百貨店（営業担当）	・堅調に推移しているのは、冷夏やSARSによる海外旅行の縮小など、さまざまな要因により、手ごろな百貨店での買物が増加したためと思われる。景気全体に関しては、この夏打撃を受けた家電メーカーなどに思っている以上に影響が出ると思われる。	
	スーパー（店長）	・冷夏の影響が出て、特に農作物の収穫が作況指数7%減と非常に懸念される。また、秋も短く、すぐに冬になってしまう可能性が高く、秋物の動向、仕入れに注意しなければならない。	
	スーパー（店長）	・商圈内に競合店ができたため、既存の店舗が時間延長、24時間営業に切り替えていることが原因である。	
	衣料品専門店（経営者）	・天候不順により、秋物商戦が懸念される。客はセールでいくら安くても購入せず、暑ければ秋物に目がいかない。消費者がシビアであるということが如実に表れている。特に9月の立ち上がり商戦の苦戦が予想される。	
	一般レストラン（経営者）	・天候不順により、旬の食材の仕入れが後先になり、価格上昇も避けられない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・レストランは、9月に近隣店舗で改装の動きがあり、9～10月にかけては来客数が伸びることはない。婚礼については、秋から年末までの受注が思うほど伸びていない。婚礼以外の宴席は、財界、学会等の大きな催しが今年の秋にはなく、競合が激化していることもあって、予約状況は厳しい状況である。	
	タクシー運転手	・8月は冷夏と雨の影響で、客の動きが少ない。これから先も、現状から判断するとやや悪くなる。前年比1～2%の減少と考えている。	
		美容室（経営者）	・客の来店サイクルが非常に長くなっている。
	悪くなる		
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・トラック部品メーカーなので、排ガス規制のための代替によって今は最も忙しい。5月頃は、この景気の良さは一過性なので分からないと答えたが、今年の夏は、夏休みが1日も取れないほどの状態で来たことから、来年のことは分からないが、あと2、3か月はまだ良くなると、やっと最近確信が持てるようになった状態である。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・今後、半年程度は安定した受注がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・空調リニューアルの大型物件の引き合いがこのところ増えている。今年から来年にかけて、これらの引き合いが受注に結びつく。
		建設業（経理担当）	・商談案件の内容は厳しいものの、受注量が若干増加してきている。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	・新たな顧客からの問い合わせが確実に増えてきている。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・日々の仕事であるゴム印や名刺などの受注は、以前ほどの量には至っていない。	
	化学工業（従業員）	・生産予定、販売予定ともに変化はない。	
	金属製品製造業（経営者）	・仕事量は増えているが、受注価格は相変わらず下げざるを得ないデフレ傾向にある。景気が良いとの実感を持てるのは、まだかなり先だと思う。	

	金属製品製造業（経営者）	・下期の予算取りの様子によるが、価格の低迷は継続しそうである。
	輸送業（経営者）	・排ガス規制に対応した触媒あるいはDPF（ディーゼル微粒子除去装置）等の取り付けで、出費が重なったが、仕事は少ない。この先どうなるのか、よく分からないのが現状である。
	通信業（営業企画担当）	・再リースでの対応を選択する客が多く、この動きを変える要素は見当たらない。
	金融業（審査担当）	・他の取引金融機関の借換えの話はあるが、新規設備投資については、依然としてほとんどない状態が続いている。
	金融業（渉外担当）	・企業業績は回復、株価も上昇しており、景気回復の前兆とみる経営者は多い。ただし、超低金利時代にもかかわらず、企業の資金需要が回復してこない。前向きな設備投資等が出始めないことには、本格的な景気回復には至らない。
	不動産業（従業員）	・売買、賃貸ともに、住宅関係だけであり、商工業の動きは少ない。
	不動産業（総務担当）	・相変わらずテナントの奪い合いが激化しており、大型ビルにテナントを取られた中小ビルオーナーの悲鳴が聞こえてきている。
やや悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・今までは、やりきれないくらいの量があったが、受注残が少なくなってきた。
	輸送業（総務担当）	・業績は、予想どおり上向きになると考えているが、排ガス規制対策のためのトラックの新規購入用資金が必要であり、トラック運送業全体が厳しい状況に直面している。倒産、廃業がかなり増加すると予想している。 ・当社も、下請け業者がどのような対応をし、どれだけのトラックが対応できるかということを考えると、不安が残る。
	金融業（得意先担当）	・リストラや廃業する客が増加している。景気が良くなる見込みがない。
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・冷夏の影響で、原料用の米が大分高くなる。一般主食用の米の備蓄はあるが、業務用の米は絶対量が不足している。
雇用関連	良くなる	
	やや良くなる	
	人材派遣会社（社員）	・特に製造業で、元気のある企業が頑張っている。この2年で、初めて2、3か月先が良くなると答えている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・業界によってバラつきがあるが、金融、メーカーが、新卒採用に積極的に取り組んでいる。
	求人情報誌製作会社（編集担当）	・地元の百貨店が、春先から進めていた大規模なリニューアルがこの秋に完了する。新規テナントも入り、地元での求人も見込まれる。また、この動きに対応した競合店の動きにも注目したい。
	職業安定所（所長）	・勤務先が全国的なものであるが、販売関係及びサービス業で、大量求人が散見されるようになっている。
	職業安定所（職員）	・新規求人数は、正社員が3か月連続で前年同月を既に上回り、パートも同様に上回る状況である。求人受取窓口では、今まで求人申請がなかった新たな事業所からの申請が目立っている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・リストラの一段落した企業で、人手不足から人の採用を始めるところが出てきている。このように、受注は多くなってきているという現状はあるが、派遣料金が相変わらず低いまま上昇がみられない。
	人材派遣会社（支店長）	・受注数は少しずつ増加しているが、派遣の場合、9月末が契約更新の時期になることが多く、それに向けての受注とも考えられる。また、大きな受注案件は増えていない。
	職業安定所（職員）	・流通関連の卸、小売業の求人数が、依然としてマイナス基調で推移している。特に9月以降、冷夏による収益悪化の影響が求人の減として顕在化してくることが危惧される。 ・労働力移動の受け入れ分野として期待されている介護等の福祉関連事業所で、介護報酬の改定等の影響により、雇用が縮小基調（欠員補充のみ）で、経費削減のため職員のパート化を急激に進めている。
	学校〔専門学校〕（教務担当）	・IT業界が少々元気があるようなので期待しているが、全体的に見ると厳しい。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-